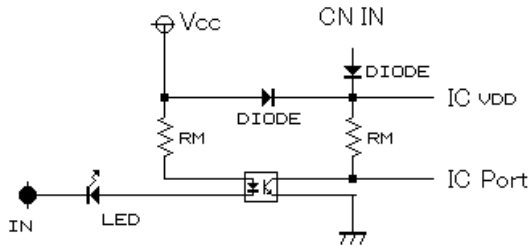


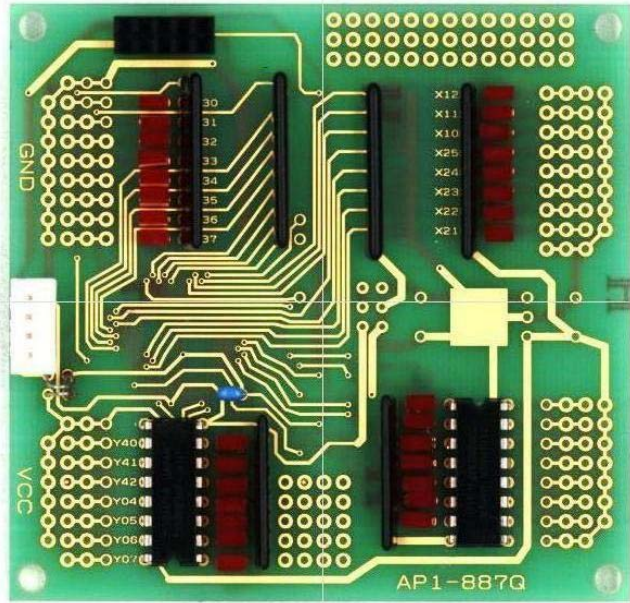
入力等価回路 GNDレベルにてON



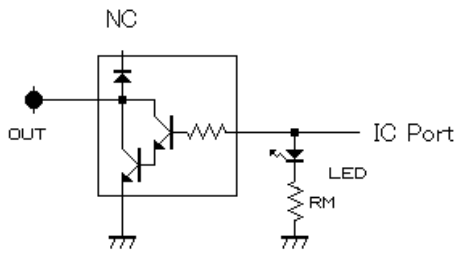
Vccに電源供給をしないと入力は動作しません。
書き込み時はVcc電源をお切りください。
デバッグ時はVcc電源を供給してください。

デバッグ用CN

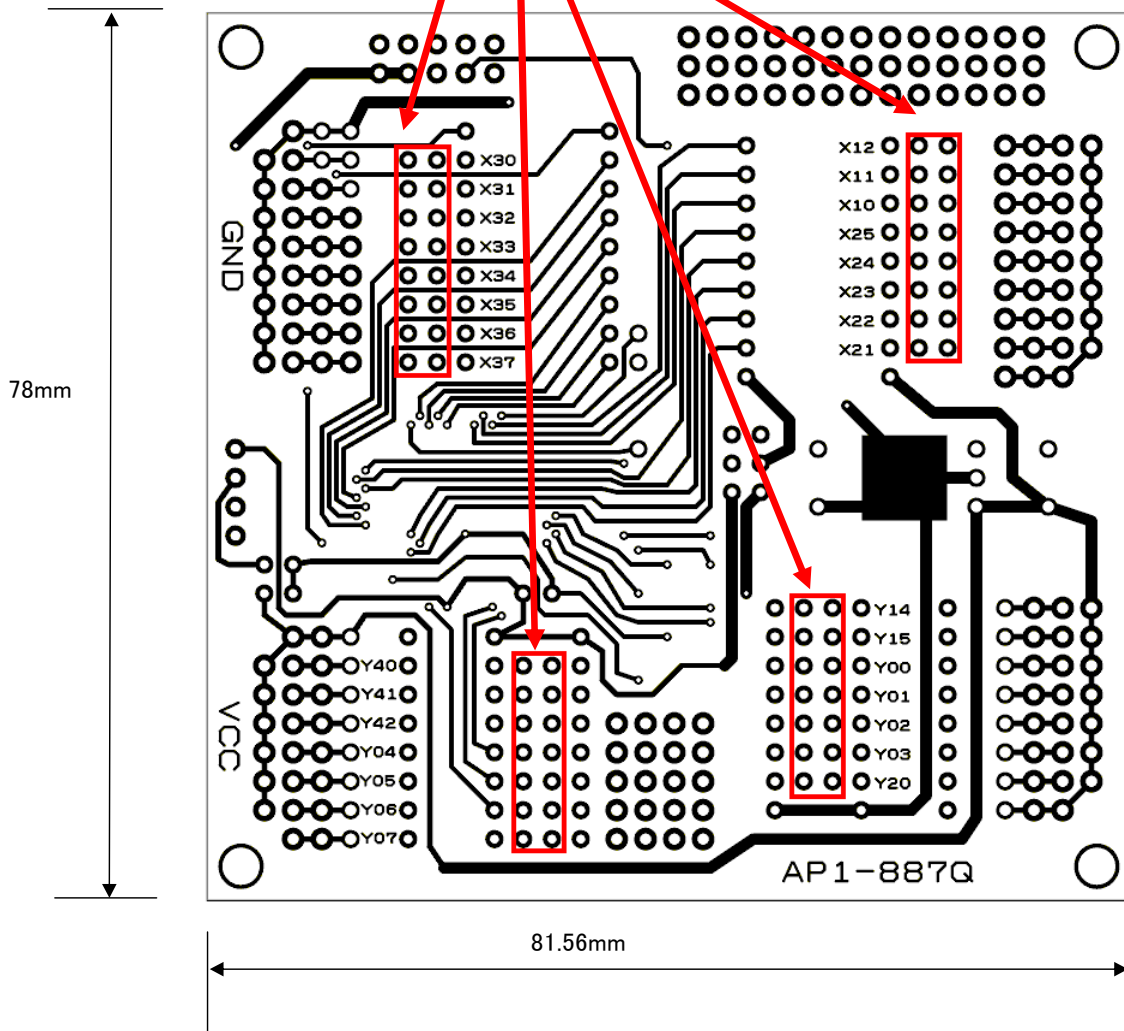
書き込み用CN



出力等価回路 Open コレクター(L出力)



入出力確認用LED



1 ドライバーとプログラムを**ダウンロード**してください

| | |
|--|---|
| PICライター: MiniPICProg.lzh http://feng3.cool.ne.jp/halfmat/software/minipicprog.html | USB Driver: R2176.zip http://www.ftdichip.com/Drivers/VCP.htm |
|--|---|

2 DwonLoadした“MiniPICProg.lzh”を解凍してください。(MiniPICProg)

MiniPICProg.exe がプログラム本体です。アイコンまたは適当な場所に作成したショートカットをクリックするとプログラムが起動します。

3 DwonLoadした“R2176.zip” Fileを任意の場所に解凍してください。(FT232RL)

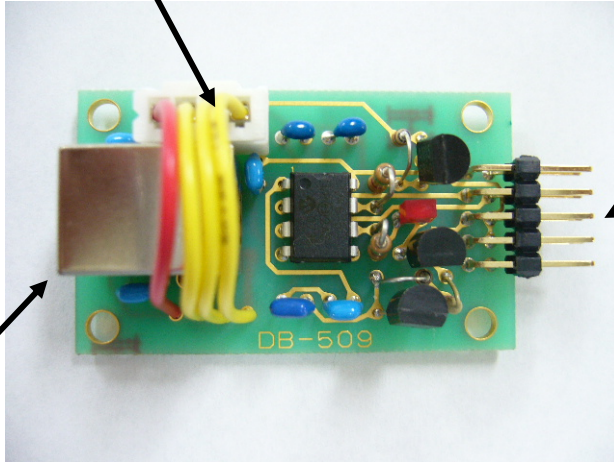
4 本体をPCに接続してUSBを接続するとハードウェアウィザードが起動します。

4にて解凍した場所を指定して、ドライバーを入れてください。

デバイスマネージャーにて**USB Seral Port (COM*)**ができていることを**確認**してください。

5 通信ポートは**上記5にて確認したポートを使用**してください。

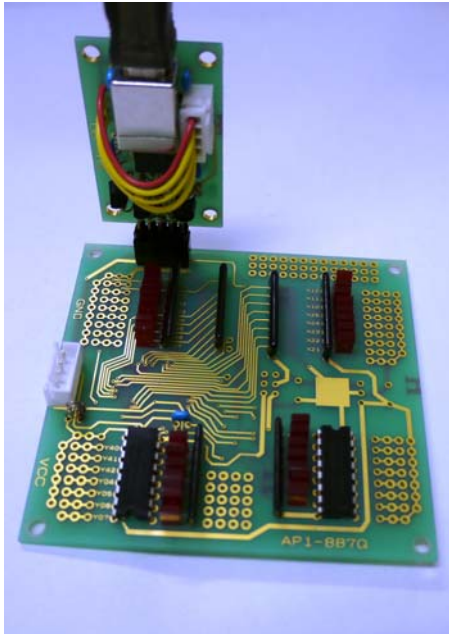
デバッグ用CN



Witer用CN

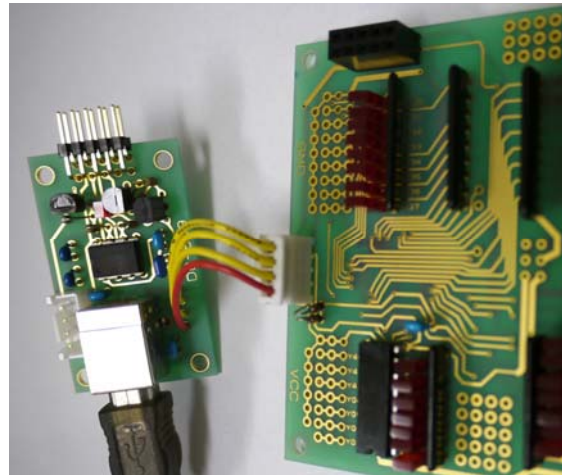
PC接続用USB(Bタイプ)

接続例(書き込み:Programu)



VCCとGNDより電源供給しますが、書き込み時は電源を切った状態で書き込みを行ってください。

接続例(PLCに、デバッグとして接続した写真)



電源はVCCとGNDに接続して供給してください。
上記写真は接続サンプルで、このままでは入力が動作しません。

CNを抜く場合は、ケーブルを持たないで下さい。断線の原因になります。

**※) 電源をいれたままのCNの抜き差しは故障の原因になります。
必ず、USBコネクターを抜いた状態でCNの抜き差しを行ってください。**